

あとがき

北海道は、豊かな自然環境、新鮮で良質な食材等我が国でも有数の観光資源を有する観光地域です。平成 12 年度は約 600 万人が北海道を訪れ、有珠山噴火災害の影響もあり来道観光客数は減少したものの、基本的には増加基調にあり、平成 13 年度上期には増加に転じています。

一方北海道経済は、大手金融機関の破綻を初めとした企業倒産など厳しい経済環境が図続くなか依然として低迷を続けていますが、こうした状況を打開すべく全道的に地域活性化のための様々な取り組みが行われています。国土交通省においては、観光交流を通じた経済の活性化を「当面する課題」として、訪日外国人旅行者の倍増、休暇の取得促進・分散化、国民ニーズの多様化に応えられる地域の多様な資源を活用した魅力ある観光交流区間づくりを行うこととしています。このような中、北海道の観光については第 6 期北海道総合開発計画において重点施策のひとつとして位置づけているとともに、北海道により「北海道観光のくにづくり条例」(北海道)が公布され、観光産業を北海道経済のリーディング産業として位置づけ、行政、民間、地域住民が連携して観光振興を図ることとしています。

一方、国民の価値観の多様化を反映し、旅行ニーズや旅行形態も多様化の傾向を強めており、団体旅行より選択性の高い個人旅行が増加しつつあります。北海道観光では自動車への依存度が高いこともあり、近年、レンタカーや自家用車を利用した道外からの周遊観光も増加しています。

そこで、国土交通省北海道局では、地域の方々、NPO、自治体等と連携し、美しい沿道景観づくりなど北海道が有する豊かな地域資源の保全・活用を図ることにより観光振興を図り、北海道経済の活性化に資することを目的に米国で取り組まれているシーニック・バイウェイ制度を導入することとし、現在そのための準備作業を進めているところです。

本資料は、本制度創設準備の一環として、1980 年代より「シーニック・バイウェイ法」を制定し積極的に取り組んできた米国における取り組みの現状と課題を把握することを目的として実施した調査結果をとりまとめたものです。

最後に、本調査を実施するにあたり、多忙のところヒアリング調査や現地調査への同行など貴重な時間をさいていただいた、米国連邦道路局、ノースカロライナ州道路局そして各バイウェイ関係機関担当各位に感謝申し上げます。また本資料が今後の北海道におけるシーニックバイウェイづくりの過程で活用していただければ幸いです。

平成 15 年 2 月

国土交通省北海道局地政課 和 泉 晶 裕